

「きれいに暮らす奈良県スタイル」行動計画 進捗状況

令和3年2月

「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進協議会

－ 目 次 －

I	「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進体制	1
II	重点プロジェクト	2
III	実践部会の設置・運営	3
IV	個別事業の概要	
	1. 「大和川のきれい化」推進	4
	2. 「奈良らしい景観づくり」推進	12
	3. 「循環型の生活スタイル」推進	21
IV	各分野における実践団体の活動促進	29
V	「きれいに暮らす奈良県スタイル」実践者表彰	33

「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進体制

「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進協議会(73者)

(会長:知事 平成28年12月設立)

実践活動の誘発・促進

実践団体部会 29ページ

(平成29年5月設置)

参画・協働

重点課題の個別対策

重点課題対策部会

参画・協働

市町村等

「大和川きれい化」

重点対策支川部会 6ページ

- ・大和高田・広陵エリア (高田川・土庫川・葛城川)
(平成29年12月設置)
- ・大和郡山・斑鳩・安堵エリア (三代川・岡崎川)
(平成31年1月設置)

「奈良らしい景観づくり」

中和幹線沿道景観部会 16ページ

(平成29年8月設置)

「循環型の生活スタイル」

ごみ処理広域化 23ページ

II 重点プロジェクト

1. 「大和川のきれい化」推進

全国ワースト上位ランキングにある大和川の水質を“地域の環境を映す鏡”と捉え、流域の多様な主体による広域的なネットワークにより、水質の改善に一層重点的に取り組むとともに、きれいな水辺空間づくりを目指します。

- 清流復活への取組促進(全国ワースト上位ランキングからの脱却)
- きれいな水辺空間づくり

2. 「奈良らしい景観づくり」推進

本県の強みである歴史的景観などの魅力を一層高めるとともに、良好な都市景観を創出するため、県内各地の特徴ある景観を有する一定の地域を「小庭(エリア)」として、県全体が調和のとれた「一つの庭」となるような植栽景観づくりを促進するとともに、奈良らしい魅力動線を創出するための都市・沿道景観の形成を目指します。

- 「なら四季彩の庭」づくり(奈良県植栽計画の推進)
- 都市・沿道景観の形成

3. 「循環型的生活スタイル」推進

「きれいに暮らす奈良県スタイル」構築のベースとして、資源やエネルギーを大切にする「環境に配慮した生活」への転換・普及に向けて、本県の地域特性に適したごみの共同処理や3R(リデュース・リユース・リサイクル)を促進するとともに、地球温暖化防止対策としても、再生可能エネルギーのさらなる利活用や省エネ・節電等の推進・定着を図ります。

- ごみ減量化の促進
- ごみの広域・共同処理の促進
- 不法投棄等の撲滅
- 地球温暖化防止対策の促進

II 実践部会の設置・運営

重点プロジェクトを推進するにあたり、個別対策の実施及びさらなる実践活動の誘発・促進につなげるため、本協議会に、以下の部会を設置した。(県・市町村及び団体等が連携・協働する新たな「奈良モデル」として推進。)

1. 大和川重点対策支川部会 (大和高田・広陵部会:H29.12設置、大和郡山・斑鳩・安堵部会:H31.1設置)

概要：6ページ

大和川の水質の全国ワースト上位ランキング脱却に向け、水質改善の遅れている重点対策支川(8支川)のうち、「高田川」・「土庫川」・「葛城川」(大和高田・広陵エリア)、及び「三代川」・「岡崎川」(大和郡山・斑鳩・安堵エリア)を対象に、流域市町や団体等が連携・協働しながら、川の水質改善・きれいな水辺空間づくりの実践活動を誘発・促進する。



高田川沿いの千本桜

2. 中和幹線沿道景観部会 (H29.8設置) 概要：16ページ

県の中和地域を東西に結ぶとともに、二上山や三輪山など県を代表する景観資源を眺望できる中和幹線をモデル路線として、おもてなしの心あふれる、奈良らしい美しく風格のある都市・沿道景観づくりを目指すため、県と沿道5市町(大和高田市、橿原市、桜井市、香芝市、広陵町)が連携・協働しながら、沿道での屋外広告物のあり方、及び対策を検討・推進する。



中和幹線(桜井市から二上山方向を望む)

3. 実践団体部会 (H29.5設置) 概要：29ページ

本協議会構成団体(12団体)を中心に、新たな実践団体の掘り起こしを行いながら、実践情報の共有、活動紹介、意見交換等を通して、個々の取組の活性化を図るとともに、全県的な実践活動を誘発・促進する。

III 個別事業の概要

1. 「大和川のきれい化」推進

(1) 清流復活への取組促進(全国ワースト上位ランキングからの脱却)

① 汚水処理施設の整備を促進し、さらなる水質改善を図ります。

課題	○大和川の水質は全国ワーストランキング上位。 ○下水道、合併浄化槽の整備等により水質は良くなってきているが、さらなる改善が必要。
取組	○公共下水道の整備・接続の促進 ○合併浄化槽整備、適正な維持管理(法定検査、清掃、保守点検)の促進

○目標(指標による評価)

	H27	R1	目標値
下水道普及率(大和川流域)	82.3%	84.7% ↑	-
汚水処理人口普及率(県内全域)	87.7%	89.3% ↑	95.1% (R7)

- ⇒ 下水道普及率は、平成27年度と比較し令和元年度は2.4ポイント上昇し。
- ⇒ 汚水処理人口普及率(県内全域)は、平成27年度と比較し、令和元年度は1.6ポイント上昇。
- ⇒ 引き続き、公共下水道の整備・接続、合併浄化槽整備等促進に取り組む。

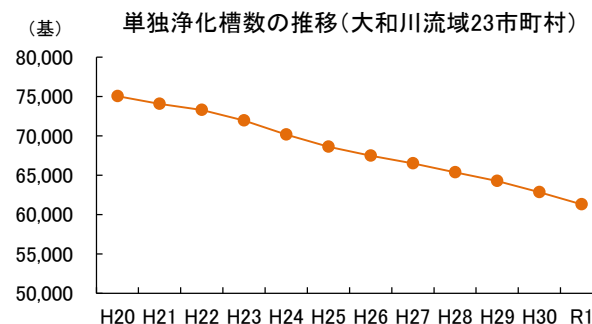
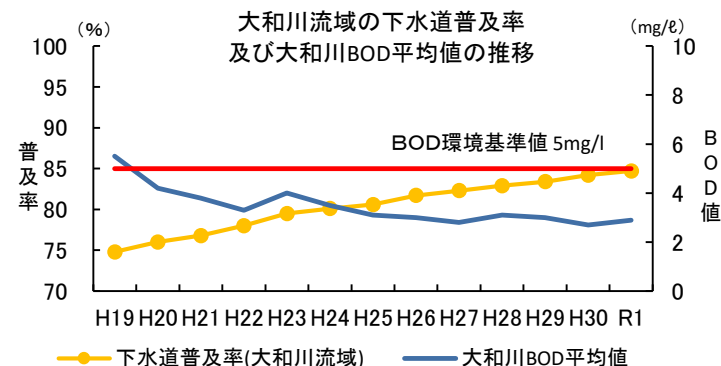
○主な実践例

● 公共下水道の整備・接続の促進

- ・市町村が実施する接続推進員による戸別訪問を支援(県補助)
(補助実績:R2 大和高田市、橿原市、香芝市、田原本町)

● 合併浄化槽整備、及び適正な維持管理の促進

- ・市町村が実施する合併浄化槽設置補助を支援(県補助)(R1補助実績:6市町122基)
 - ・チラシやホームページによる広報・啓発
- ⇒大和川流域の浄化槽法定受検率は13.0%(R1)であり、県平均19.3%(R1)、全国平均43.1%(H30)と比較して低調。普及・啓発を通して、より一層の実践活動の促進が必要。



⇒下水道接続、合併浄化槽整備等により、環境への負荷の高い単独浄化槽数が減少

III 個別事業の概要

1. 「大和川のきれい化」推進

(1) 清流復活への取組促進(全国ワースト上位ランキングからの脱却)

② 川に「汚れ」を出来るだけ流さない暮らしの普及・定着を図ります。

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○河川の水質汚濁要因の約7割が家庭からの生活排水。 ○県民一人ひとりが、川に「汚れ」を流さない工夫と実践が必要。
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○大和川(本川・支川)の水質の「見える化」による県民意識の醸成。 ○多様な主体による広域ネットワーク活動の促進(大和川清流復活ネットワーク(国、県、23市町村、20団体)の活動促進、環境イベントの開催等)。

○目標(指標による評価)

(大和川流域)	H27	H30	R1	目標値
環境基準点(全21地点)での基準値達成地点数	19	21	19 ↓	21 (R2)

⇒ 全ての環境基準点で基準値を達成できるよう、水質改善を進める。

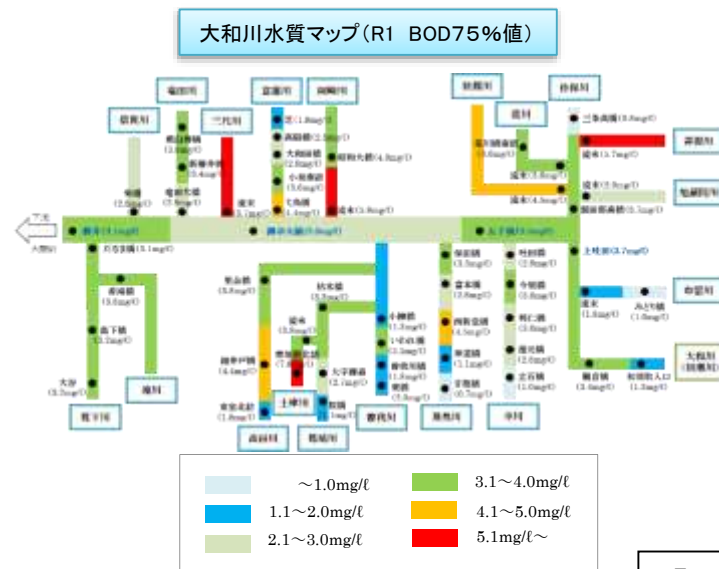
○主な実践例

- 大和川(本川・支川)の水質の見える化による県民意識の醸成
 - ・「水質の見える化」による啓発
(大和川水質マップホームページ <http://www.eco.pref.nara.jp/yamatogawa/>)
 - ・「きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル」の発行(年4回 ※R2年度は年3回)



きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル

- 多様な主体による広域ネットワーク活動促進



大和川重点対策支川部会(大和高田・広陵エリア)

<これまでの動き>

平成29年度	6月	第1回県・市町担当課長会議 設置・開催
	11月	第2回担当課長会議(部会設立ワーキング)
	12月	第1回大和川重点対策支川部会(大和高田・広陵エリア) 設置・開催 ・構成メンバー: 担当課長会議メンバー + 団体・有識者 ・地域実践計画骨子について検討・議論
平成30年度	7月	第2回部会開催 ・地域実践計画の策定・承認 ・実践計画に基づく普及啓発活動のスケジュールを共有
	9月 ~ 3月	実践計画に基づく普及啓発活動の推進 ・ 広報誌による広報・啓発(県、大和高田市、広陵町) ・ バス広告による啓発(2月:大和川水質改善強化月間) ・ 自治会等を対象とした集中啓発 啓発チラシを作成し、自治会会合へ出向き、実践活動への理解・協力依頼及び戸別訪問実施について打診(2月、3月) 事業所への立入指導等の実施
令和2年度 ~ 令和元年度		実践計画に基づく普及啓発活動の推進を継続 ・ 広報誌による広報・啓発(県、大和高田市、広陵町) ・ バス広告による啓発(2月:大和川水質改善強化月間) ・ 新聞記事による啓発(奈良新聞・2月:大和川水質改善強化月間) ・ 自治会等を対象とした集中啓発 ※ 事業所への立入指導等の実施 令和3年2月 第3回部会開催予定(書面開催)

◆ 大和川水質マップ (赤字:重点対策支川)



◆ 広報誌等による普及啓発



大和高田市広報誌(令和2年10月号)



奈良県広報誌(令和3年2月号)

※ 自治会等の訪問については、新型コロナウイルス感染症予防のため一時中止している。(R3.2現在)



啓発用チラシ

今後の取り組み(予定)

- 引き続き、自治会会合等へ積極的に訪問し、川の現状や水質改善に向けた取組の実践について普及啓発を実施
- 高田川流域の浄化槽世帯(約3,200世帯)を戸別訪問し生活排水の改善にかかる啓発を実施
- 下水道接続促進員による接続促進

【大和高田・広陵エリアできれいな水辺空間づくりに取り組む団体】

①大野子供会



②寺戸平和子ども会



[草刈り]

③大野自警団

④笠12組

⑤足相区

⑥安部区

高田川

大和高田市

⑦松塚町町会

⑧松塚水利組合

土庫川

⑪花友会



[植栽]

⑩地域交流
空間エンジェル ※

⑫磯野町を愛する会

⑬西三倉堂
自治会15組

⑭甘田町自治会

葛城川

⑨ガールスカウト奈良県第52団【H29.5新規参加】



※・・・「きれいな奈良県づくり功労賞」受賞団体

大和川重点対策支川部会(大和郡山・斑鳩・安堵エリア)

〈これまでの動き〉

平成30年度	7月	第1回県・市町担当課長会議 設置・開催 県・市町(大和郡山市・斑鳩町・安堵町)が連携しながら、三代川・岡崎川流域の現状分析・課題抽出を行う旨、申し合わせ
	11月	第2回県・市町担当課長会議 有識者を交え、主に以下の事項を協議 ・現状・課題の認識・共有 ・課題をふまえた取り組み方針の検討 ・部会メンバー(団体・企業等)の検討
	1月	第1回大和川重点対策支川部会(大和郡山・斑鳩・安堵エリア)設置・開催 ・構成メンバー: 担当課長会議メンバー + 団体・有識者 ・役割: 地域実践計画策定(目標の設定、具体的方策)、実践活動の促進、情報共有・発信
令和元年度	7月	第2回部会開催 ・地域実践計画の策定・承認 ・実践計画に基づく普及啓発活動のスケジュールを共有
	9月～3月	実践計画に基づく普及啓発活動の推進 ・広報誌による広報・啓発(県、大和郡山市、斑鳩町、安堵町) ・バス広告による啓発(2月:大和川水質改善強化月間) 事業所への立入指導等の実施
令和2年度		実践計画に基づく普及啓発活動の推進を継続 ・広報誌への啓発記事掲載(県、大和郡山市、斑鳩町、安堵町) ・バス広告による啓発(2月:大和川水質改善強化月間) ・新聞記事による啓発(奈良新聞・2月:大和川水質改善強化月間) 事業所への立入指導等の実施 令和3年2月 第3回部会開催予定(書面開催)

◆ 大和川水質マップ (赤字:重点対策支川)



◆ 水辺景観の良くない事例



生活排水の流入(三代川)



ごみの滞留(岡崎川)

今後の取り組み(予定)

- 三代川流域を中心に、自治会会合等へ積極的に訪問し、川の現状や水質改善に向けた取組の実践について普及啓発を実施
- 三代川流域の浄化槽世帯を対象に戸別訪問し生活排水の改善に係る啓発を実施

【大和郡山・斑鳩・安堵エリアで美しい水辺空間づくりに取り組む団体】

①三代川愛護会

②南興留第三自治会

③安堵桜遊会

④昭和工業団地協議会

大和郡山市

斑鳩町

安堵町

岡崎川

三代川

After

Before

III 個別事業の概要

1. 「大和川のきれい化」推進

(2)きれいな水辺空間づくり

地域や団体等との協働で、きれいな水辺空間づくりを進めます。

課 題	○人々の暮らしと水辺との関わりが薄らぎ、喪失されてきている。 ○水辺の持つ癒やしなどの機能を大切にする住民意識の醸成が必要。
取 組	○地域住民等と連携・協働する河川美化活動の促進(植栽、清掃、草刈り) ○水辺の遊歩道や花壇等の整備、地域住民等による維持管理の促進 ○環境用水の導入促進(農業用水等の利活用) ○体験型の河川環境イベントの開催



親水護岸の整備(佐保川)

○目標(指標による評価)

	H28	H29	H30	R1	目標値
河川美化活動参加団体数	176	181	178	178 →	197(R1)
	(内訳) 植栽: 23 清掃: 98 草刈: 55	(内訳) 植栽: 27 清掃: 99 草刈: 55	(内訳) 植栽: 26 清掃: 97 草刈: 55	(内訳) 植栽: 25 清掃: 97 草刈: 56	(内訳) 植栽: 30 清掃: 109 草刈: 58



大和川一斉清掃(H31.3)

○主な実践例

● 遊歩道、親水施設、花壇等の整備、地域住民等による維持管理の促進

- ・遊歩道の整備 : 竜田川(平群町)、甘田川(葛城市)、菰川(奈良市)
- ・親水施設や花壇の整備 : 佐保川(奈良市)、富雄川(生駒市)、佐味田川(河合町)、滝川(上牧町)

● 環境用水の導入促進(農業用水等の利活用)

- ・菰川(奈良市): 佐保川及び農業用井戸から導水(H21~) ※BOD値: 9.1mg/ℓ(H20) → 3.3mg/ℓ(R1)
- ・菩提川(奈良市): 地下水を導水(H23~) ※BOD値: 14mg/ℓ(H20) → 5.7mg/ℓ(R1)

● 体験型の河川環境イベントの開催

- ・大和川一斉清掃(H30実績: 58会場で約8,500名参加、R1は中止)、川の清掃デー(R2は中止)
- ・みんなのかっぱ教室(R2実績: 29名参加)、あおがき探検隊(R2実績: 14名参加)、大和川源流体験ツアー(R2は中止)



あおがき探検隊(R1.7)

III 個別事業の概要

2. 「奈良らしい景観づくり」推進

(1) 「なら四季彩の庭」づくり(奈良県植栽計画の推進)

県内各地の特徴ある景観を有する一定の地域を「小庭(エリア)」として、植栽景観を整え、奈良県全体が調和のとれた「一つの庭」となることを目指します。

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○景観の重要な構成要素である植栽に問題があることから、地域の魅力が低下。 ○歴史的・文化的景観など奈良らしい景観を創出するための植栽計画が必要。
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○奈良県植栽計画の小庭(エリア)整備推進(計画・施工・管理) ○がんばる市町村や団体等の支援・連携による事業推進 ○地域住民等との連携・協働による継続的な維持管理の促進 ○事業成果の「見える化(ビフォー・アフター)」による推進(進捗が見えるホームページ・サイトの開設、ジャーナルの発行、シンボルマークプレートの設置等)



きれいに暮らす奈良スタイルジャーナル
(第12号「奈良らしい景観を目指して」)

○目標(指標による評価)

	H28	H29	H30	R1	目標値
小庭(エリア)整備着手数	45	50	51	51 →	54 (R2)

○主な実践例

● 奈良県植栽計画の小庭(エリア)整備推進(計画・施工・管理)

- ・新たなエリアを整備計画に追加(R1:なら歴史芸術文化村、奈良県立野外活動センター、高天交差点～鴻ノ池運動公園周辺、唐古・鍵遺跡史跡公園周辺)
- ・(仮称)奈良県植栽条例の制定への取組

● 事業成果の「見える化(ビフォー・アフター)」による推進

- ・「きれいに暮らす奈良スタイルジャーナル」の発行
- ・事業進捗・成果の「見える化(ビフォー・アフター)」※県HPに特設サイト開設(H29～)

【小庭(エリア)の整備事例】

五條市 5万人の森公園展望台

葛城市 竹内街道

着手前



(撮影:H30.5)



(撮影:R1.5)

着手後



支障木の伐採(H31.4)
(撮影:H31.4)



遊歩道の整備(R2.3)
(撮影:R2.3)

● **がんばる市町村や団体等の支援・連携による事業推進**

【県民参加型の実践例】

佛隆寺、宇陀市、ボランティアによる協働

【県植栽計画の「室生」エリアで活動】

ヒガンバナの名所であった佛隆寺参道が、獣害によりほぼ全滅したため、宇陀市が主導して、ヒガンバナ球根の寄贈の呼びかけ、植付をするボランティアの募集を行うとともに獣害防止柵を設置。ボランティアが毎年植付を行ったことにより、往時の姿が復活しました。



見頃のはずのヒガンバナが見られない(H26.9)



ボランティアによる植付作業(H26)



往時の姿が復活した(R2.9)

● **地域住民等との連携・協働による継続的な維持管理の促進**

① 公園・道路等を活動拠点とした植栽景観づくり

いこま里山クラブ(平成16年～)

【県植栽計画の「富雄川沿」「生駒山」「矢田丘陵」エリア内で活動】

生駒山麓公園や矢田丘陵等で、荒廃した里山や竹林の整備、遊歩道の維持(草刈り)、子どもたちや地域の人と自然に親しむイベントの開催等に取り組んでいます。

※R2年度「きれいな奈良県づくり功労賞」受賞

(活動の様子)



生駒山麓公園内の樹林地整備



矢田丘陵遊歩道の整備



生駒市高山地区の竹林整備



子ども向けイベントも開催

② 河川を活動拠点とした植栽景観づくり

菩提川を汚さない会（平成23年～）

【県植栽計画の「佐保川沿」エリア内で活動】

奈良市の菩提川沿いで、清掃や植栽を実施。令和2年6月からは佐保川沿いの植栽にも取り組んでいます。
※R2年度「きれいな奈良県づくり功劳賞」受賞

（活動の様子）



菩提川沿いにコスモスを植栽



菩提川沿いの花壇



清掃活動



収集したごみ

竜田川流域の美しい街まもり隊（平成20年～）

【県植栽計画の「生駒山」エリア内で活動】

生駒市の菜畑駅周辺において、清掃（ごみ拾い）活動や、県有空地での除草・花植え等の植栽活動を実施しています。

（活動の様子）



花壇のコスモスの植栽



花壇の手入れ



花壇の手入れ



花壇の啓発看板

III 個別事業の概要

2. 「奈良らしい景観づくり」推進

(2) 都市・沿道景観の形成

おもてなしの心あふれる、奈良らしい美しく風格のある都市・沿道景観づくりを目指します。

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○市街地・幹線道路沿道における派手な色彩の建築物や屋外広告物などが地域の魅力を低下。 ○景観に対する県民意識を高め、関係主体の連携・協働により地域にふさわしい景観創造に取り組むことが必要。
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○まちの魅力づくりに貢献する広告物等のあり方の検討・具現化 ○国際的な歴史文化交流拠点“奈良”の玄関口となる駅周辺における屋外広告物等の対策 ○幹線道路の屋外広告物対策 ○景観住民協定の促進 ○花による沿道の彩りづくり(沿道の事業所・団体等との連携・協働) ○沿道の無電柱化の促進(歴史的景観保存地区、市街地幹線道路等)

○主な実践例

● 景観住民協定の促進

・協定締結団体数：17団体(令和2年3月末)

● 花による沿道の彩りづくり

- ・団体等が行う沿道での植栽や清掃活動等を支援(R1実績：114団体)
- ・地域住民やボランティア団体等が自主的に行う河川美化活動(植栽、清掃、草刈)を支援【再掲】

● 沿道の無電柱化の促進

- ・歴史的景観保存地区での整備
飛鳥寺・甘樫丘周辺での整備 0m(H28) → 440m(R1)
- ・市街地幹線道路での整備

	道路延長	無電柱化整備延長	市街地等幹線道路の無電柱化率
県管理道路	296.3km	21.3km	7.2%
国管理道路	47.0km	16.4km	34.9%
道路合計	343.3km	37.7km	11.0%

(令和元年度末時点の数値。※四捨五入により合計値が一致しない場合がある)

【無電柱化の整備事例】

(橿原市八木町(近鉄大和八木駅南側)での事例)



整備前



整備後

● 幹線道路の屋外広告物対策

中和幹線沿道景観部会(平成29年8月設置)

1. 部会の取組と成果

① 「中和幹線屋外広告物ガイドライン」の策定(平成29年3月)

部会の前身組織「中和幹線沿道景観協議会」(設置:平成27年9月、構成:県・沿道市町・有識者)において、目指すべき沿道景観のあり方について検討・議論。平成29年3月には「中和幹線屋外広告物ガイドライン」を策定し(同年4月施行)、屋外広告物に係る景観形成の方針や誘導基準を制定。

【ガイドラインに基づく景観形成イメージ】

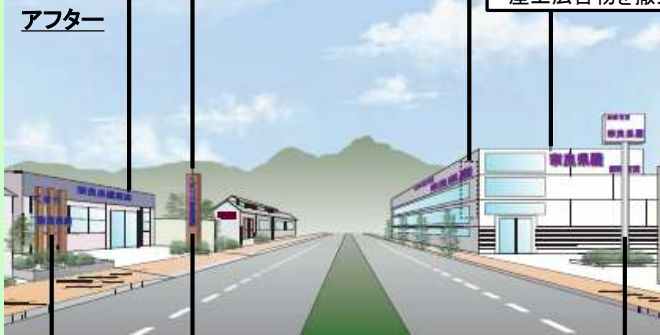
例:二上山・三輪山眺望エリア



高彩度色の使用を抑える

突出広告物を撤去

屋上広告物を撤去



デザインを統一

表示面積を小さくし高さを下げる

例:住宅市街地エリア



高彩度色の使用を抑える

表示面積を小さくし高さを下げる



屋外広告物の数を減らす

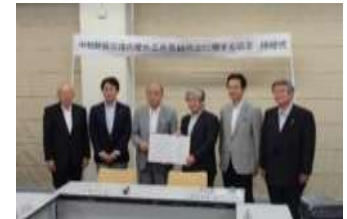
<ガイドラインの概要>

中和幹線沿道を**4エリア**に区分し、各エリアの景観形成方針に基づいて誘導基準を設定

エリアの種別	地域の特徴	景観形成方針	主な誘導基準
①二上山・三輪山眺望エリア	二上山・三輪山等の、記紀万葉の歴史を有する山々が正面に見えるエリア	道路軸線上の視線を確保し、二上山や三輪山への良好な眺望景観を形成	・屋上広告物の禁止 ・独立広告物の高さ制限 等
②住宅市街地エリア	街路樹の緑で屋外広告物が目立たず、良好な住宅地の景観が形成されているエリア	住宅と街路樹が調和した落ち着いた景観を維持し、良好なまちなみ景観を形成	・屋上広告物の面積制限 ・独立広告物の高さ制限 等
③田園・山なみエリア	建築物が少なく、沿道に農地や山地の緑を眺めるエリア	独立広告物を制限し、良好な田園景観や山なみ景観を形成	・独立広告物の面積制限 等
④沿道市街地エリア	商業施設やサービス施設、住宅等が混在した賑わいのあるエリア	色彩や配置等の制限により、周囲と調和した賑わいの景観を形成	・背景色は周囲と調和した色彩を使用 等

②「中和幹線沿道の屋外広告景観向上に関する協定」の締結（平成29年5月）

ガイドラインに基づく沿道景観づくりの実現に向け、引き続き、県・5市町が連携・協働して取り組むことを確認。



協定締結式

③中和幹線沿道市町における屋外広告物条例施行規則の改正（平成30年10月施行）

中和幹線沿道5市町の規則の一部をガイドラインに合わせる形で改正。

<平成30年度から令和2年度の実績>

修景対象の広告物43件中、11件が修景済み(R3.1現在)

【旧桜井総合庁舎前交差点付近での修景事例】



広告物の撤去前(H30.6撮影)

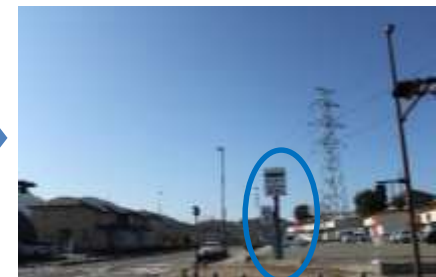


撤去後(H30.8撮影)

【香芝市高山台3丁目地内での修景事例】



広告物の修景前(R1.6撮影)



修景後(R1.12撮影)

2. 今後の取組

中和幹線における奈良らしい沿道景観づくりに向け、引き続き、県・沿道5市町の連携による是正・誘導を実施。

● 国際的な歴史文化交流拠点“奈良”の玄関口となる駅周辺における屋外広告物等の対策

近鉄奈良駅・JR奈良駅周辺(三条通含む)における景観・移動環境空間等の整備

奈良の玄関口である「近鉄奈良駅・JR奈良駅周辺等」において、国際的な歴史文化交流拠点“奈良”にふさわしい、**きれい・快適な都市・沿道環境等の創出**を目指して、**景観行政団体である奈良市と連携し、奈良モデル・プロジェクトとして推進する。**

<近鉄奈良駅周辺の課題>

統一感のない屋外広告物等、駅に降り立った時に「奈良らしさ」を実感できる景観が乏しい。

<これまでの動き>

- 平成27年 1月 県と市がまちづくり包括協定を締結
- 平成30年 6月 県・市担当課長会議を設置・開催し、課題の共有及び県と市が連携して取り組んでいくことを確認
- 令和元年 6月 「奈良新『都』づくり戦略(案)」に掲載、県として重点的に取り組む目標の一つに位置付け
- 令和元年11月 県において近鉄奈良駅周辺の環境整備にかかる庁内体制を整備
- 令和2年9月～ 商店街・自治会など地元関係者との勉強会を定期的開催

<次年度以降の予定>

景観づくりの早期実践・事業化を目指し、地元関係者との合意形成を図りながら具体的な取り組み内容について検討を進める。

【近鉄奈良駅周辺(大宮通り)】



平成28年11月

【JR奈良駅周辺(県道木津横田線)】



平成28年11月



四条通（平成19年）



四条通（平成27年）

都市名	施策化の背景	合意プロセス
京都市	<p>○京都の都市再生推進に向けての緊急提言 (京都経済同友会 H14年7月) ➢基本戦略:歴史とともに暮らす都市の再生</p> <p>○京都の都市景観の再生に関する提言 (日本建築学会 H15年6月)</p> <p>○国家戦略としての京都創生の提言 (京都創生懇談会 H15年6月)※座長:梅原猛 ・京都創生の基金創設、歴史都市再生法の制定 ・京都らしい町並み景観の形成、三山の保全 ・京都歴史博物館の建設など</p> <p>○「京都創生百人委員会」の設立(H15年10月) ➢「国家戦略としての京都創生の提言」の実現を応援する有志による組織 ※代表:梅原猛</p> <p>○京都創生推進フォーラムの設立(H17年6月) ➢京都創生の実現に取り組む京都の団体、企業、個人による組織 ※代表:京都商工会議所会頭(村田純一)</p>	<p>○「時を超え光り輝く京都の景観づくり審議会」設置 (H17年7月 京都市長から諮問) ・建築物の高さやデザインの更なる規制・誘導 ・京町屋など歴史的建造物の保全とそれを活用した都市景観の形成 ・看板など屋外広告物や駐輪・駐車対策の強化など</p> <p>○同審議会が、6回の審議を経て、公開シンポジウムやパブリックコメントを実施しH18年3月に、緊急に取り組むべき施策を示した「中間とりまとめ」を提言。 ※最終答申:H18年11月</p> <p>○H18年4月に、全国では前例のない市街化区域全域にわたる高さ規制の見直しや建築物のデザイン規制の強化を含む「新たな景観施策の展開について」の方針を示した。</p> <p>○京都市屋外広告物条例(H19.3改正、H19.6施行) (市域を21のエリアに区分し、強弱を付けて規制)</p>

- 京都市では、条例改正時(H19.3)に、**約28,000件**存在した違反広告物を、徹底した是正活動により、経過措置期間終了時(H27.3)に**約4,500件**まで減少させた。(屋外広告物の適正表示率 H19 **約30%**→H26 **83%**)
経過措置期間終了後も継続した是正活動により、**平成30年度末時点**で屋外広告物の適正表示率は**97%**まで上昇している。

III 個別事業の概要

3. 「循環型の生活スタイル」推進

(1) ごみ減量化の促進

できる限り「ごみを出さない、ごみを循環的利用する」暮らしや事業形態への転換を促進します。

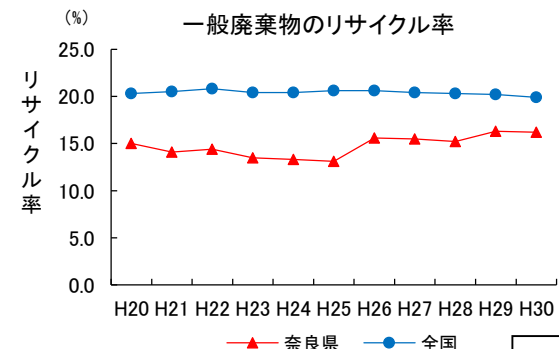
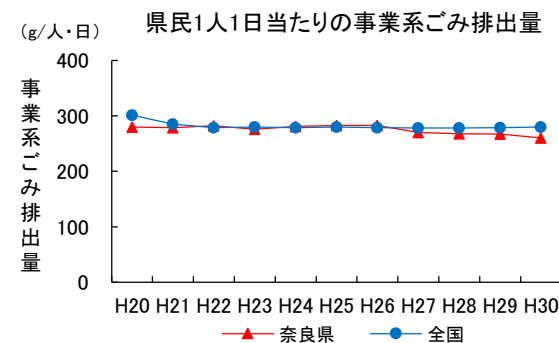
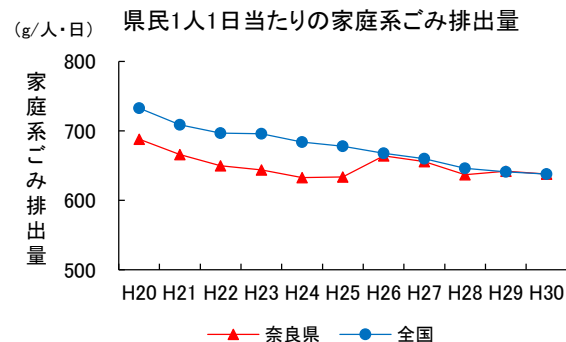
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭ごみ一人1日当たりの排出量は減少しているが、事業系ごみは横ばい。 ○一般廃棄物のリサイクル率は全国平均よりも低く推移。 ○さらなるごみの減量化に向けた取組が必要。
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ処理施設における発電等サーマルリサイクル(熱回収)の促進 ○市町村連携によるリサイクル推進(小型家電等の広域回収の促進等) ○企業等との協定締結の促進(レジ袋削減、小型家電回収等) ○分別回収や集団・拠点回収によるリサイクル促進 ○奈良県リサイクル認定製品の普及拡大 ○食品ロスの削減や下水汚泥等の有効利用の促進 ○排出事業者のごみ減量化の研究開発・設備導入への支援 ○県民意識を高めるための情報発信(イベント、啓発冊子等)

○目標(指標による評価)

	H27	H28	H29	H30	目標値
一人1日当たりのごみ排出量※	926g	905g	909g	898g ↑	865g(R4)
一般廃棄物リサイクル率	15.5%	15.2%	16.3%	16.3% →	23.0%(R4)

※は数値の低い方が良くなる指標

⇒ 一人1日あたりのごみの排出量は、平成29年度と比較し減少した。しかし、リサイクル率は横ばい。目標達成に向け、県民・事業者の「ごみを出さない、ごみを循環的利用する」暮らしや事業形態への転換を引き続き促進していく。



○主な実践例

- **ごみ処理施設における発電等サーマルリサイクル（熱回収）の促進**（H30実績：6市1町3組合）
- **市町村連携によるリサイクル推進、企業等との協定締結の促進**
 - ・小型家電等の広域回収の促進（R1実績：28市町村で分別回収）
（※回収率向上に向け、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に全市町村参加（H30.12現在））
 - ・企業と「マイバッグ等の持参促進及びレジ袋有料化に関する協定」締結（実績：1市）
- **分別回収や集団・拠点回収によるリサイクル促進**
 - ・集団回収を自主的に行う団体への助成（R1実績：26市町村）
 - ・生ごみ処理容器設置費の補助（H30実績：23市町村）、生ごみたい肥化（H30実績：6市町）
 - ・廃食用油の回収による石鹸・バイオ燃料等（R1実績：19市町村）
 - ・剪定枝、草木等の堆肥化（H30実績：6市町）、チップ・ペレット化（H30実績：3市町）
- **食品ロスの削減や下水汚泥等の有効利用の促進**
 - ・奈良県食品ロス削減推進フォーラムの開催（10月30日：食品ロス削減の日）
 - ・食品ロス削減啓発リーフレットの作成、企業と連携し店舗でのPOP掲示による食品ロス削減を啓発
 - ・県庁内で職員を対象としたフードドライブを実施
 - ・フードバンク活動団体へ未利用食品の集配送等に係る経費の補助
 - ・令和2年度県民アンケートによる意識調査 食品ロス問題の認知度86.6%（確報値）（全国水準：80.2%（R1））
 - ・下水処理過程で発生するメタンガス利用（県浄化センター）
 - ・下水汚泥のセメント原料化（県第二浄化センター）
 - ・し尿・浄化槽汚泥の処理過程で発生するメタンガス利用（2市）
- **排出事業者のごみ減量化の研究開発・設備導入への支援**
 - ・研究開発（実績：県内22企業に支援し、7社が実用化）、設備導入（実績：11社に支援）
- **奈良県リサイクル認定製品の普及拡大**
 - ・令和元年度末時点において159品目（土木資材130、木製品9、肥料5、その他15）を認定
- **県民意識を高めるための情報発信**
 - ・環境パトロール・「環境の日」街頭キャンペーン など（※R2年度は中止）



小型家電回収ボックス
（大和高田市HPより）



食品ロス削減啓発リーフレット



食品ロス削減啓発POP

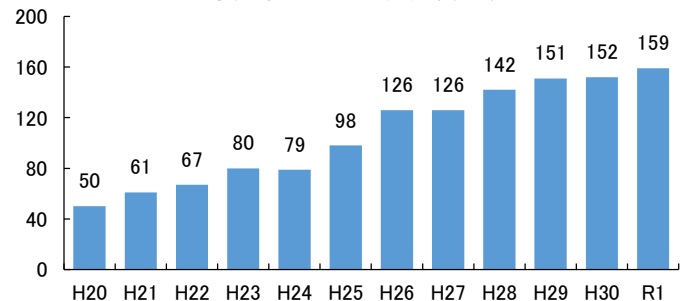


環境パトロール出発式（R1.6）



「環境の日」街頭キャンペーン（R1.6）

奈良県リサイクル認定製品数



III 個別事業の概要

3. 「循環型の生活スタイル」推進

(2)ごみの広域・共同処理の促進

ごみの広域・共同処理を促進し、ごみ処理の安定的継続を確保するとともに、行財政効率の向上を図ります。

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○県内のごみ処理施設の大半が、小規模かつ老朽化。 ○施設の広域・統合整備による「ごみ共同処理」促進が喫緊の課題。
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○県内4地域で新たな広域化を促進 <ul style="list-style-type: none"> ・やまと広域環境衛生事務組合(3市町):3施設を1施設に統合整備(整備済) ・山辺・県北西部広域環境衛生組合(10市町村):7施設を1施設に統合整備(計画中) ・さくら広域環境衛生組合(6町村):2施設を1施設に統合整備(計画中) ・橿原・高市地域(3市町村):「一般廃棄物(可燃ごみ)の処理に関する協定書」締結 ○広域・共同処理に併せた「ごみ減量化」及び「効率的なエネルギー回収」の促進

○目標(指標による評価)

	H28	R1	目標値 (R5)
県内のごみ処理施設数※	25	21 ↓	15

※は数値の低い方が良くなる指標

【県内施設の現状(平成29年3月)】

人口規模別施設数割合

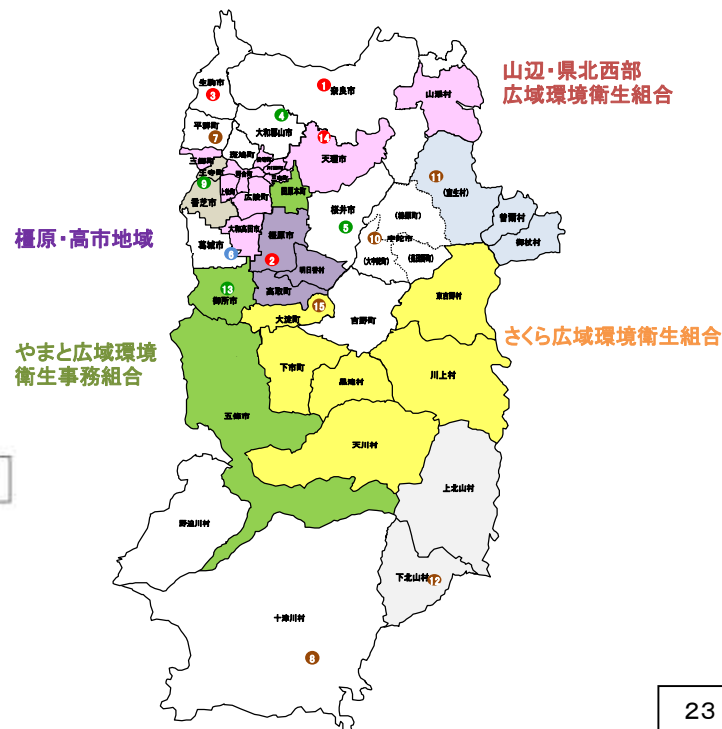


約7割の施設が5万人未満

施設稼働年数割合



約8割の施設が20年以上経過

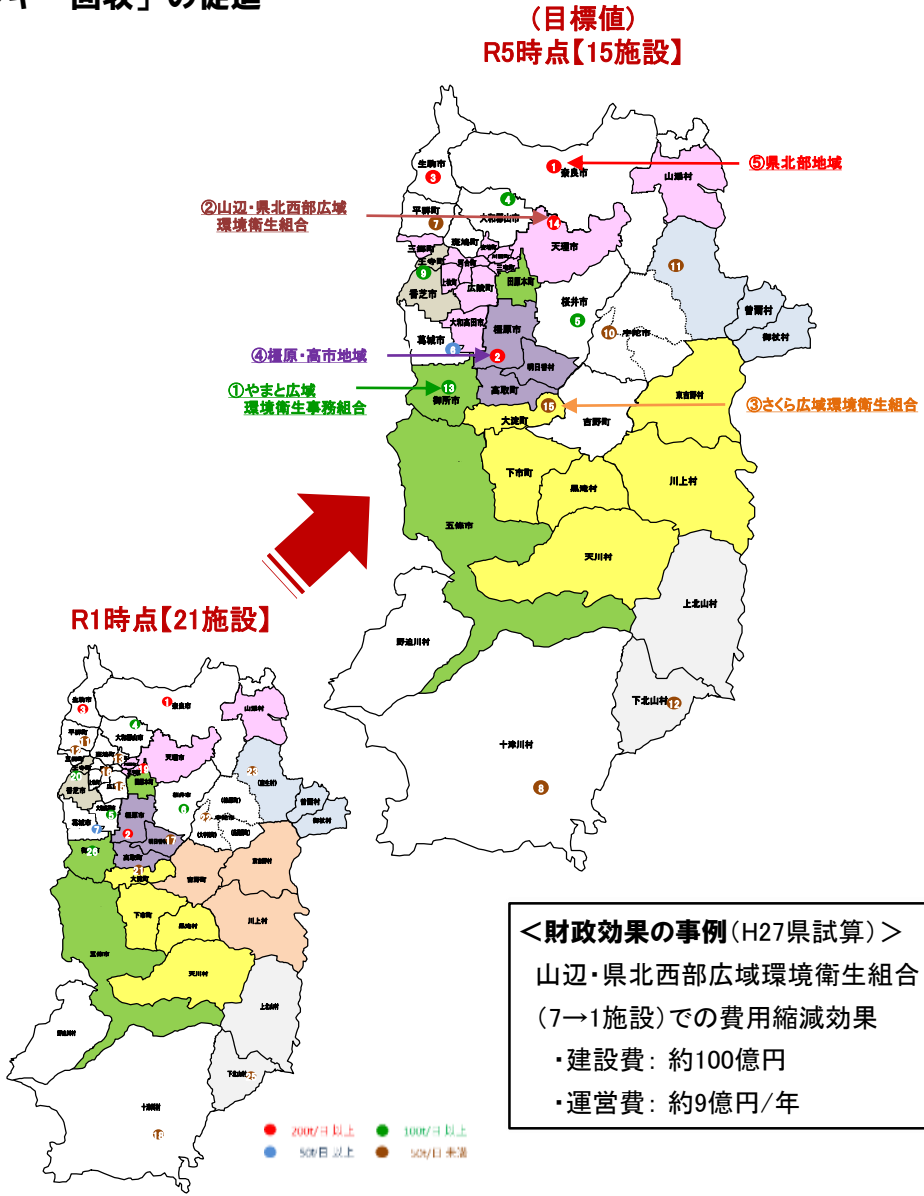


○主な実践例

- 県内3地域で広域化を促進（奈良モデル補助金による支援）
- 広域・共同処理に併せた「ごみ減量化」及び「効率的なエネルギー回収」の促進

【県内での広域化の動き】

- ① やまと広域環境衛生事務組合（平成24年8月設立）**
 - 構成3市町：御所市、田原本町、五條市
 - 進捗：平成27年度から施設建設を開始し、平成29年6月竣工
- ② 山辺・県北西部広域環境衛生組合（平成28年4月設立）**
 - 構成10市町村：大和高田市、天理市、山添村、三郷町、安堵町、川西町、三宅町、上牧町、広陵町、河合町
 - 進捗：施設整備の基本計画の策定等を終え、平成30年度より基本設計に着手。令和7年度の施設稼働を目指す
- ③ さくら広域環境衛生組合（平成28年4月設立）**
 - 構成6町村：大淀町、下市町、黒滝村、天川村、川上村、東吉野村
 - 進捗：施設整備の基本計画の策定等を終え、平成30年度より基本設計に着手。令和5年度の施設稼働を目指す
- ④ 橿原・高市地域**
 - 構成3市町村：橿原市、高取町、明日香村
 - 進捗：「一般廃棄物(可燃ごみ)の処理に関する協定書」締結(H30.11) 高取町(H31.1～)、明日香村(H31.4～)のごみを橿原市の既存施設で処理
- ⑤ 県北部地域**
 - 構成3市町：奈良市、大和郡山市、斑鳩町
 - 進捗：広域化のメリットや課題をまとめた中間報告書を作成(H30.12)



<財政効果の事例(H27県試算)>
 山辺・県北西部広域環境衛生組合
 (7→1施設)での費用縮減効果

- ・建設費：約100億円
- ・運営費：約9億円/年

III 個別事業の概要

3. 「循環型の生活スタイル」推進

(3) 不法投棄等の撲滅

きれいな奈良県を守るため、ごみの不法投棄やポイ捨てを撲滅します。

課 題	○産廃等の不法投棄・焼却は減少しているが、悪質・巧妙化している。 ○ごみのポイ捨ては、まだまだ後を絶たない。 ○監視体制の強化が必要
取 組	○監視パトロールの強化(不法投棄等対策、土地規制法違反对策(砂防三法、森林法等)) ○不法投棄防止対策(フェンス、看板、監視カメラ等の設置) ○県民総監視による体制強化(協力事業所等による見張番、地域環境保全推進員、不法投棄ホットライン等による監視・連絡体制) ○使用済家電等の不適正処理対策の推進(回収業者への立入調査・指導等) ○県民参加型の環境美化活動の促進(道路・河川等の植栽・清掃等) ○不法投棄等の撲滅に向けた啓発推進(テレビ・新聞・ホームページ等のメディアや環境イベント等による情報発信) ○観光地等のごみ対策のあり方を検討・促進
目 標	○ごみの不法投棄やポイ捨ての撲滅

○主な実践例

● 監視パトロールの強化

- ・定期的なパトロールの実施(平日、土日祝祭日・早朝夜間)
- ・警察との連携によるスカイパトロール(年12回)、路上調査の実施(年2回、うち1回は三重県との合同実施)

● 不法投棄防止対策

- ・市町村が実施する不法投棄防止対策(フェンス、看板、監視カメラの設置)を支援(R1実施市町村：13市町村)

● 県民総監視による体制強化

- ・「不法投棄見張り番」協力団体等との連携(平成20年度に県内10団体と「廃棄物の不法投棄等の情報提供に関する協定書」を締結)
- ・地域環境保全推進員による活動促進(知事委嘱:各市町村に計92名を配置)
- ・不法投棄ホットラインの運営(R1通報件数：117件)

● 使用済み家電等の不適正処理対策の推進

- ・県と全市町村参加による「奈良県使用済み家電等対策連絡会」(平成24年7月)の設立
- ・国・県・市町村の合同チームによる県内一斉立入指導の実施(R1実績：7箇所)

● 県民参加型の環境美化活動の促進

- ・地域住民やボランティア団体、企業等が自主的に行う河川美化活動(植栽、清掃、草刈)を支援【再掲】
- ・団体等が行う沿道での植栽や清掃活動等を支援(R1実績：114団体)【再掲】
- ・環境関連イベントの開催

・クリーンアップならキャンペーン

【令和元年度統一行動】※昭和61年度から毎年度開催、令和2年度は統一行動中止

○開催日：令和元年9月1日(日)

○開催場所：県内に21コース(清掃活動)と落書き消去1箇所

○参加人数：約1万5千人

○実施主体：県、親切・美化奈良県民運動推進協議会、「小さな親切」運動奈良県支部、なら落書き防止活動ネットワーク

・大和川一斉清掃(H30実績：58会場で約8,500名参加 R1は中止)【再掲】

・川の清掃デー(地域住民、国、県、市町村が連携し河川清掃等を実施。R1は5市町7河川で実施。R2は河川清掃中止。)

・吉野川マナーアップキャンペーン(7月第3又は第4土曜日を統一行動日。県・市町村等が協働でごみの持ち帰りを呼び掛け)



クリーンアップならキャンペーン出発式

● 不法投棄等の撲滅に向けた啓発推進

・「不法投棄ゼロ作戦」推進キャンペーンの展開

○啓発ポスター表彰式の開催(令和2年11月8日 於：桜井市まほろばセンター)

○街頭キャンペーンの実施(令和2年11月11日 於：県内主要鉄道駅等 県内4ヶ所)

○「強化週間」での広報(県ホームページ、県民だより、市町村広報誌 等)

○特別パトロール等の実施(県警ヘリによるスカイパトロール 等)



不法投棄ゼロ作戦啓発ポスター
(令和2年度)

III 個別事業の概要

3. 「循環型の生活スタイル」推進

(4) 地球温暖化防止対策の促進

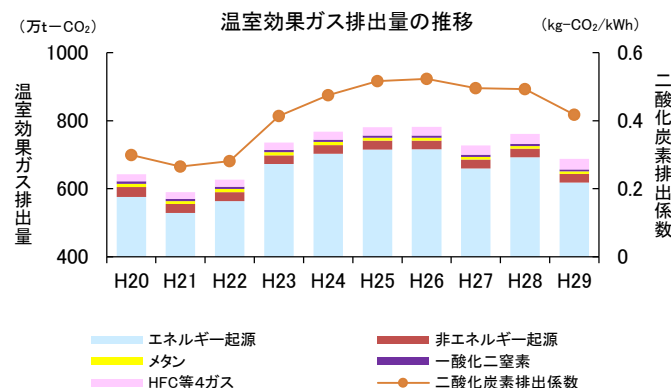
暮らしや事業活動のなかで、温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。

課 題	<p>○本県においても、過去50年間で平均気温が約0.9℃上昇。</p> <p>○県内の電灯使用電力量は減少しているが、東日本大震災以降の火力発電の炊き増し等により温室効果ガスは増加傾向。</p> <p>○再生可能エネルギーの導入、省エネ・節電等による温室効果ガス削減の取組が必要。</p>
取 組	<p>○省エネ・節電等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「奈良の省エネ・節電スタイル」の推進(まほろばエコスタイル(夏・冬)、県庁ストップ温暖化実行計画の推進) ・省エネ・節電対策への支援(高効率・省エネルギー設備等導入支援、CO₂削減アドバイザー派遣) ・省エネ・節電の県民等への理解促進(まほろばエコオフィスの登録促進、ストップ温暖化推進員の養成・活動支援、環境県民フォーラムの活動支援) <p>○再生可能エネルギーを活用した地域の取組への支援(設備導入支援等)</p> <p>○多様なエネルギーの利活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽熱・地中熱利用システムの導入支援 ・エネルギーの高度利活用推進(電気自動車用急速充電器の普及促進、水素ステーション導入検討・促進、スマートハウス普及促進等) <p>○健全な森林整備によるCO₂吸収源の確保(計画的な間伐、県産材利用の促進等)</p>

○目標(指標による評価)

	H29	H30	R1	目標値
温室効果ガス排出量削減率 (H25比)	6.9%減※ (H27)	2.5%減 ※ (H28)	11.9%減※ ↑ (H29)	30.9%減 (R12)
年間電力使用量低減率 (H26比)	2.6%	6.6%	7.4% ↑	3.5% (H30)
再生可能エネルギー導入量	448,929kW	497,660kW	532,391kW ↑	385,526kW (H30)

※森林吸収量を除く



⇒ 平成29年度の温室効果ガス排出量(最新データ)は、平成25年度(基準年度)と比較し11.9%減少している。

⇒ 年間電力使用量低減率及び再生可能エネルギー導入量については目標値を達成している。

⇒ 引き続き、温室効果ガス排出量の削減に向け、省エネ・節電、再生可能エネルギー導入、CO₂吸収源の確保に取り組む。

○主な実践例

● 省エネ・節電等の推進

- ・「まほろばエコスタイル」(夏・冬)の実施
- ・奈良県庁環境マネジメントシステムの運用(R1実績:内部監査15件、外部監査2件 等実施)
県庁ストップ温暖化実行計画の推進(県自らの率先取組)(実績:削減率は、R1でH25比33.8%減)
- ・省エネ・節電対策への支援
高効率・省エネルギー設備等導入支援(R1補助実績:2件(延べ48件))
CO2削減アドバイザー派遣(R1実績:2件(延べ53件))
- ・省エネ・節電の県民等への理解促進
まほろばエコオフィスの登録促進(登録数:299社(R1.12現在))
ストップ温暖化推進員の養成・活動支援(知事委嘱数:226名(R2.12現在))
奈良県環境県民フォーラムの活動支援(構成団体数:32団体(R2.12現在))

● 再生可能エネルギーを活用した地域の取組への支援(設備導入支援等)

- ・グリーンニューディール基金を活用した施設整備の促進
(H26~H28補助実績:55施設(県4、市町村等51))
- ・木質バイオマスエネルギーの導入促進
(補助実績:ペレットストーブ等導入補助 延べ61件)
- ・農村資源(水路・ため池等)活用による再生可能エネルギー導入調査や施設整備の促進
(H26~H29補助実績:太陽光発電施設の導入検討調査他 延べ5団体)

● 多様なエネルギーの利活用の推進

- ・太陽熱・地中熱利用システム等の導入支援(補助実績:延べ3件)
- ・電気自動車用急速充電器の普及促進(実績:経路充電102箇所、目的地充電116箇所(R2.3現在))
- ・水素ステーションの誘致(R3年3月に奈良県初の水素ステーションが完成予定)
- ・スマートハウス普及促進(R1補助実績:297件(延べ2,241件))

● 健全な森林整備によるCO₂吸収源の確保

- ・施業放置林における強度間伐(実績:延べ11,074ha(R2.3現在))
- ・県産材利用の促進
奈良県地域認証材又は県産材を使用して一戸建ての住宅の新築等を行う施主等を支援
(R1補助実績:地域認証材89戸(延べ659戸)、県産材139戸(延べ985戸))
公共施設等の木質化の促進、公共事業への間伐材等の利用促進
(R1実績(県施設):奈良高校仮設体育館、奈良県コンベンションセンター)



エコスタイルポスター
(令和2年度・冬)



農業用水路を活用した太陽光発電施設



奈良県コンベンションセンター 天平広場

IV 各分野における実践団体の活動促進

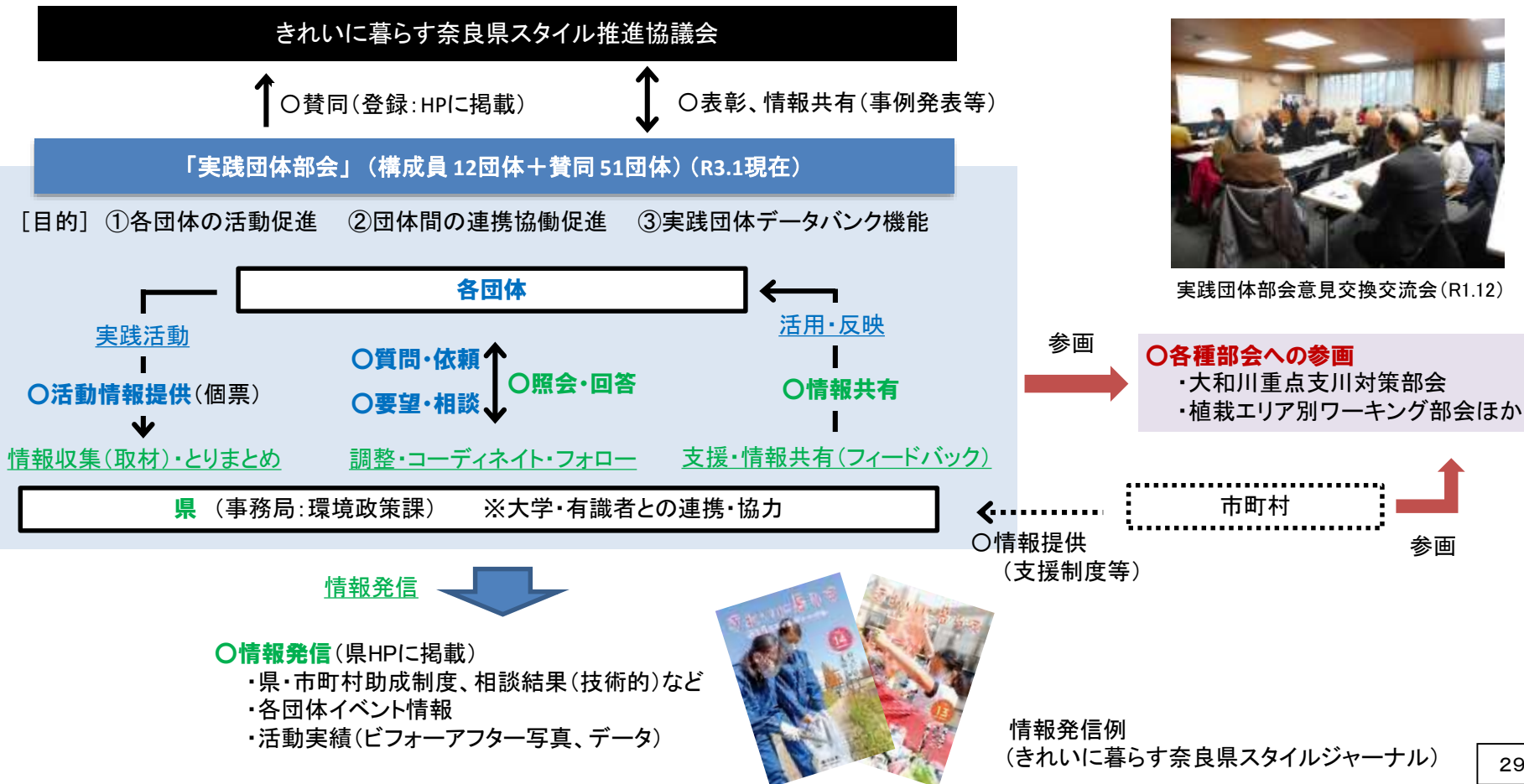
実践団体部会(平成29年5月設立)

1. 目的

「きれいに暮らす奈良県スタイル」の趣旨に賛同する実践団体による意見交換・情報共有の場として「部会」を設置し、各団体の活動促進、団体間の連携協働促進、データベース機能を果たすことで、全県的な実践活動の誘発につなげる。

2. 推進スキーム(運営体制)

平成30年度までは、「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進協議会構成員の12団体で実践団体部会を設置・開催し、意見交換や情報共有を実施してきた。今年度からは、これまでの12団体に、**本趣旨に賛同していただける団体を加えていき**、下記の推進スキームにより、各団体の活性化とともに、団体間の連携・協働を図ることで、全県的な取組へとつなげていく。



3. 構成メンバー

※五十音順

○実践団体部会構成員(12団体)

※R2年度新規賛同団体、団体の新たな取組等を赤字記載。

団体名	活動エリア	川	景観	循環	実践内容
秋篠川源流を愛し育てる会	奈良市	○	○		川の清掃、児童環境標語の掲示、地域交流活動
安堵桜遊会	安堵町	○	○		公園の草刈り、ごみ拾い、地域町おこしイベント等への参加
NPO法人 エコ葛城市民ネットワーク	葛城市			○	堆肥づくり、イベントの開催、川の清掃活動、環境教育、廃食油の回収
春日山原始林を未来へつなぐ会	奈良市		○		原始林保全活動、普及啓発活動
NPO法人 山野草の里づくりの会	桜井市		○		里山整備、イベントの主催、環境教育
昭和工業団地協議会	大和郡山市	○	○		遊歩道花壇の維持管理、植栽、クリーンキャンペーンへの参加
曾爾街道風景づくり隊	曾爾村		○		植栽、花街道づくり
奈良県環境県民フォーラム	県内一帯	○	○	○	植樹バスツアー、エコ見学会、環境にやさしい買い物キャンペーンの実施、自然体験教室の開催
奈良県地球温暖化防止活動推進センター	県内一帯			○	環境イベントの開催、普及活動、啓発イベントを開催
NPO法人 平城宮跡サポートネットワーク	奈良市		○		清掃活動、防犯パトロール
ゆめみあーと	奈良市		○		花壇への植栽、清掃活動
緑友会	県内一帯		○		花壇づくり、県事業への参加、植栽。「なら四季彩の庭づくり」の普及啓発への協力。(ステッカーの掲示)

○賛同団体 51団体(R3.1月末時点)

団体名	活動エリア	川	景観	循環	実践内容
あすか野オアシスの会	生駒市		○		地域内バス停付近での植栽、清掃活動、地域内公園での植栽、バス通り側道での清掃活動
あすかの会 風呂敷活用推進委員会	奈良市			○	生活の中でできるエコの活動・工夫・知恵などの講座の開催、風呂敷活用術の実演講座
明日の野を創ろう会	山添村		○	○	山添村的野地区で作製した水車による自然エネルギーの活用。景観資源や憩いの場として、水車周辺の植栽整備等。
石原田町シニアクラブ双葉会	橿原市		○		耳成駅周辺の道路や歩道の植栽、駅南北周辺の清掃活動。「なら四季彩の庭づくり」の普及啓発への協力。(ステッカーの掲示)
石見フラワーチーム	三宅町		○		石見駅周辺や公民館・公園等での植栽、講習会や研修の実施等
NPO法人 うだ夢創の里	宇陀市		○		4R事業(リサイクルステーション、もったいない市、生ごみのたい肥化)の実施
ECOKA委員会	生駒市		○		鹿ノ台地区周辺緑地の整備・植栽、地区内のオープンガーデンの植栽

団体名	活動エリア	川	景観	循環	実践内容
笑郷・まほろばの会	香芝市		○	○	自然観察会などの参加・実施等
S.C.C	奈良市		○		佐保川小学校南東屋付近の植栽、清掃活動等の実施
F A 奈良	奈良市		○		大淵公園・ボランティアセンター等での植栽、低木の剪定、花等に関する講師の派遣等
葛城市観光ボランティアガイドの会	葛城市		○		案内先の清掃活動等
かつらぎわかくさ会	王寺町	○			葛下川の清掃活動等
かよう会	王寺町		○		明神山進入路～山頂の参道の落ち葉清掃、維持管理
川西町・サークルお花畑	川西町		○		公園・沿道・駅構内の植栽・樹木の管理、結崎駅周辺の除草・清掃活動等
環境サークル「エコみ～るず」	香芝市			○	市内の小学校での環境学習(ごみのリサイクルに関する講義、ごみ分別体験)
グリーンボランティア いこま宝の里	生駒市		○		イモ山公園、真弓どんぐり公園の樹林整備等
公園ボランティア	奈良市		○		西大寺近隣公園の草刈り、清掃活動等
広陵町商工会	広陵町			○	靴下ハギレを手芸指編材料として再生利用(全国の老人施設に発送)、靴下リサイクル作品展の開催
寿会	御所市	○			柳田川堤防・河川内の植栽、清掃活動、周辺地域全般における清掃活動
NPO法人 サークルおてんとさん	県内一帯			○	地球温暖化防止や再生可能エネルギーの普及
佐保川ガーディアンズ	奈良市		○		佐保川及び佐保川沿いの公園の清掃活動、樹木の管理・剪定等
佐保川桜まつり燈火会実行委員会	奈良市	○			佐保川沿い・近隣の公園の清掃活動、佐保川桜まつり燈火会の開催
佐保台グリーンサポートすみれクラブ	奈良市		○		地域内の佐保台第3号街区公園と周辺道路の草刈り、植栽、清掃活動
佐保台グリーンサポートパンジークラブ	奈良市		○		平城山駅東口のロータリー周辺道路の植栽、清掃活動等
佐保台グリーンサポートなでしこクラブ	奈良市		○		地域内の佐保台第4号街区公園と周辺道路の草刈り、清掃活動
C・C・C 泉ヶ丘	王寺町		○		自治会内侵入路・道路・公園等の除草・草刈り・雑木の伐採などの維持管理
市民公益活動団体「ほたる」	生駒市	○			市内河川のホタルの生息に関する環境調査
しらかし花を咲かそう会	橿原市	○			高取川河川敷の植栽、清掃活動
竜田川流域の美しい街まもり隊	生駒市	○	○		近鉄生駒線菜畑駅周辺～第二阪奈分、インター間の清掃活動、近鉄菜畑駅高架下北側県有空地の植栽

団体名	活動エリア	川	景観	循環	実践内容
地域交流 空間エンジェル	大和高田市	○			大中公園・高田川沿いの清掃、植栽活動等
一般社団法人 地域未来エネルギー奈良	県内一帯			○	市民・地域共同発電所づくりのための調査活動、再エネ発電の事業者を支援する人員支援・派遣等
地球の宝を守り隊	宇陀市			○	リサイクル活動、清掃活動、小学校の放課後教室の講師として派遣
NPO法人なないろサーカス団	王寺町		○		森づくりなどの環境保全活動等
奈良県生活協同組合連合会	奈良市			○	環境に関する講演会、会員生協役員対象の再エネ利用見学会などの開催
奈良公園自然史の会	奈良市		○		レンゲツツジ群落の保全活動、観察会、講演会の実施等
新口町自治会	橿原市		○		新口町の公共施設等の植栽等。「なら四季彩の庭づくり」の普及啓発への協力。(ステッカーの掲示)
萩乃里自治会	宇陀市		○		自治会内の清掃、植栽、公園の草刈等
花いっぱい運動の会	奈良市		○		近鉄高の原駅のふれあい広場等の植栽、低木の剪定、清掃活動等
東吉野村小水力利用推進協議会	東吉野村			○	研究会の開催、小水力発電設備先進地研修等
舟戸二丁目クリーン会	王寺町		○		通学路や公園等の植栽、地域の道路や公園・公共施設などの清掃活動
平城宮跡緑のボランティア	奈良市		○		東院庭園の除草、梅・生け垣剪定、松枯れ予防等
菩提川を汚さない会	奈良市	○			菩薩川の水質検査(CDO値)、植栽、清掃活動。「なら四季彩の庭づくり」の普及啓発への協力。(ステッカーの掲示)
みみなしぐるうぷ	橿原市、桜井市			○	環境教育啓蒙(学童保育)、環境フェスタ(橿原市)・環境フェア(桜井市)出展、広告紙等を使った簡単箱づくり
虫いっぱいの里山づくり隊	橿原市		○		里山林の維持管理(下草刈り・間伐・植栽・遊歩道の整備・花壇の整備)、観察マップの発行等
NPO法人森づくり奈良クラブ	奈良市		○		矢田山遊びの森の森林整備等。「なら四季彩の庭づくり」の普及啓発への協力。(ステッカーの掲示)
柳生街道・滝坂の道を守る会	奈良市		○		春日山(滝坂の道等)の自然環境の保全、自然歩道や側溝等の清掃活動、能登川内の清掃保護・倒木の撤去等
やまと郡山環境を良くする市民の会	大和郡山市	○	○		富雄川河川敷・サイクリングロード沿いの植栽、清掃活動
友遊クラブ・みその	王寺町		○		花の植栽、自治会内・公園・公共施設の清掃活動
吉野川左岸の景観を守る会	吉野町		○		吉野川左岸堤防沿いの桜の植樹・維持管理、桜の周辺の草刈り、植栽等
吉野小水力利用推進協議会	吉野町			○	地域住民が主となって水車を製作し、地域の必要に活かす「水車プロジェクト」の実施
六条西六丁目自治会	奈良市		○		公園の草刈り、植栽、清掃活動等

V 「きれいに暮らす奈良県スタイル」実践者表彰

令和2年度きれいな奈良県づくり功労賞受賞者

部門	団体名	活動内容
川のきれい化	菩提川を汚さない会	菩提川の清掃や土手の草刈り、菩提川沿いの花壇や土手への植栽を行っている。また、オリジナルの幟や立て看板による啓発活動も行い、河川の美化に長年にわたり貢献されている。
景観づくり	いこま里山クラブ	「生駒の森を元気に！」をスローガンに、様々な里山保全活動を行っている。生駒山麓公園や矢田丘陵遊歩道を中心に、荒廃した里山や竹林の整備、遊歩道の維持を行っている。 子どもや地域の人を対象に自然に親しむイベントも開催し、地域の環境保全意識の向上にも長年にわたり貢献されている。
	奈良トヨタグループ	日々の店舗周辺の清掃に加え、「まほろばクリーンキャンペーン」として店舗を拠点とした広範囲の地域の清掃・美化活動を毎年県内営業所の全社員で実施しており、県内各地で地域の美化に長年にわたり貢献されている。
	萩乃里自治会	宇陀市榛原萩乃里住宅地の市道600m沿いにプランターを設置し、植栽を行っている。落ち葉から自家製腐葉土をつくり、回収したプランターの土の使える部分と混合し次の花苗の土として再利用している。 住宅地の中にある2箇所の公園のゴミ回収や草刈り、大型水路の清掃等、様々な活動を通じて長年にわたり地域の景観維持に貢献されている。
循環型の生活スタイル	明日の的野を創ろう会	山添村的野地区において、村に元々ある豊かな自然の景観を活かすことを目的に、水車を製作・設置している。 平成29年に自転車のホイールを活用した小型水車を製作し、防犯灯の電源として活用している。平成30年には木製水車を製作し、夜間ライトアップを行っている。 再生可能エネルギーの普及のみならず、水車周辺地や水路を整備し、村の景観の向上にも貢献されている。

奈良県工芸カレッジ
な～らちゃん

